

## 埼玉県信保協、ウェブで保証残高照会 全国初「空き枠」も算出

2026.04.20 09:31

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）は4月20日、「残高・区分照会システム」の提供を開始した。金融機関は、利用者ごとの保証債務残高、直近決算の保証料率区分などの照会をウェブ上で行えるようになった。全国で初めて、保証限度額から保証債務残高を除いて算出する保証の「空き枠」も確認できるようにした。

空き枠が照会可能になったことで、事業者の保証限度額を誤認して保証を申し込んでしまうことを防げる。金融機関はこれまで、自身で空き枠を計算していた。

従来、金融機関からの照会は書面で受け付けていた。年約2500件がすべて同システムでの照会に移行すると、同協会の事務負担は年間625時間軽減される計算。金融機関も書面の作成や送付といった負担がなくなるほか、速やかに回答が得られる。保証申込予定者との相談もスムーズになり、迅速な資金調達の実現が期待できる。

照会には対象者の顧客番号か保証番号が必要。このため、既存の保証付き融資取引があるか、保証申込予定者から顧客番号などの情報を受けた金融機関が利用できる。

利用には金融機関からの「利用開始申請書」の提出が必要。4月13日時点で20機関から申請があり、これだけで保証債務残高の85%がカバーされるという。